

CMRC研究会「分子性結晶における構造物性研究」

2010年4月22日-23日

主催: 高エネルギー加速器研究機構(KEK)・物質構造科学研究所 構造物性研究センター(CMRC)

共催: 科研費 新学術領域研究「分子自由度が拓く新物質科学」

会場: KEK 4号館 1Fホール

4月22日(木)

座長: 鹿野田一司(東大工)

- 12:45-13:00 村上洋一(KEK-CMRC) はじめに
- 13:00-13:20 熊井玲児(産総研) 放射光・中性子を用いた有機強誘電体の構造解析による分極起源の解明
- 13:20-13:40 中尾朗子(KEK-CMRC) 放射光を使った分子性結晶の構造研究
- 13:40-14:00 近藤隆祐(東大総合文化) θ 型有機導体における新規な電子状態の可能性
- 14:00-14:20 宮崎剛(物材機構) 第一原理計算による分子性結晶の圧力下の構造決定

14:20-14:40 break

座長: 宇治進也(物材機構)

- 14:40-15:00 高橋一志(東大物性研) 電荷秩序物質 β -(meso-DMeBEDT-TTF)₂PF₆における外場応答と構造との相関
- 15:00-15:20 松下未知雄(名大理) 結晶中の分子を電流で動かす
- 15:20-15:40 矢持秀起(京大低温セ) (EDO-TTF)₂PF₆の多重不安定性の部分的抑制
- 15:40-16:00 足立伸一(KEK-CMRC) 構造物性研究における放射光のパルス性利用の可能性について

16:00-16:20 break

座長: 森初果(東大物性研)

- 16:20-16:40 野田幸男(東北大多元研) 有機導体における磁気秩序と π 電子分布の中性子による測定
- 16:40-17:00 石田尚行(電通大) ラジカル-コバルト低次元磁性体の μ SR
- 17:00-17:20 石原純夫(東北大理) 電子型誘電体の誘電性と磁気誘電性 -分子性結晶と酸化物-

18:45- 懇談会

4月23日(金)

座長: 村上洋一 (KEK-CMRC)

- 9:30-9:50 神戸高志 (岡山大自然) 芳香族有機分子系超伝導体の構造と物性
- 9:50-10:10 小林由佳 (物材機構) 特異な電子配置を有する分子性導体の構造と物性
- 10:10-10:30 川本正 (東工大理工) 結晶溶媒を含む有機超伝導体の構造と電子状態
- 10:30-10:50 break

座長: 中尾裕則 (KEK-CMRC)

- 10:50-11:10 西川浩之 (茨城大理) 分子性導体DODHT塩の常圧絶縁相に関する構造学的研究
- 11:10-11:30 高石慎也 (東北大理) ハロゲン架橋金属錯体における化学的圧力を利用したMott-Hubbard状態の安定化
- 11:30-11:50 内藤俊雄 (北大) 紫外光を照射したDCNQI銀塩の非周期的構造の解析と伝導性変化との関連
- 11:50-13:00 lunch

座長: 熊井玲児 (産総研)

- 13:00-13:20 中尾裕則 (KEK-CMRC) 分子性結晶における共鳴X線散乱研究
- 13:20-13:40 古川貢 (分子研) 一次元有機導体(TMTTF)₂Xの構造と電子相の相関
- 13:40-14:00 妹尾仁嗣 (理研基幹研) 擬1次元分子性導体の多様な共存/競合
- 14:00-14:20 花咲徳亮 (岡山大理) フタロシアニン分子性伝導体の基底状態
- 14:20-14:30 break
- 14:30-15:00 discussion [leader: 村上洋一 (KEK-CMRC), 森初果 (東大物性研)]